



おおさか支局

〒530-8251 (住所不要)
毎日新聞社会部おおさか支局

TEL06-6346-8443
FAX06-6346-8444

メールはat-osaka@mainichi.co.jp
読者の皆さんの取り上げてほしいテーマなど、お寄せください。

【購読お申し込み】
フリーダイヤル0120-468012

どんなシチュエーションでどんな風に撮りたいのか明確な考えを持っているコスプレイヤーたち。カメラマンとの綿密なコミュニケーションを通じて1枚1枚写真を作り上げていく
—泉佐野市の新井邸で



東日本震災の被災地への義援金を集める委員ら—京都市左京区で

コスプレで 日本元気に

アニメやゲームのキャラクターに扮した若者たちが純和風の趣ある大邸宅に集い異空間を演出する。「コスプレ」は国際的にも注目を集める日本のポップカルチャーの一つだ。コスプレを通じて東日本震災からの復興に一役買うとコスプレ愛好家(コスプレイヤー)らでつくる「復興支援コスプレ委員会」(大阪市北区、杉本真依委員長)が今年5月に設立され、観光庁からの後援も受けて活動を始めていく。

歴史的建造物など公共性が高く個人での貸切が難しい会場を使用した撮影会を企画し、収益の一部を義援金として震災被災地に寄付する。また今後、被災地訪問を計画するなど「コスプレ」という国際的な観光資源を武器に「日本を元気にす

震災復興にも一役



女の子に大人気のプリキュアのコスプレをする杉本真依・委員長(右)
—京都市左京区で

る」を目標としている。「コスプレ」とはコスチューム・プレイの略。コスプレイベントは東京や大阪など大都市を中心に開かれており、主催する組織も数十団体はあるという。

現在、同委員会の委員登録者は、関西を中心に約300人を数え、初年度目標は国内外合わせて1万5千人。委員に登録すると割引料金でイベントに参加できるなどのメリットがある。

事務局長を務める杉村崇さん(39)は「(コスプレ)を見るときは、アニメから飛び出てきたように、子供たちにも喜んでもらえると思います。来春には被災地に行って、子供たちをアニメやゲームのキャラクターに変身させてあげたいです」。

問い合わせは同委員会
(06-630448-3336)

【空間投稿、写真も】
名利交換は撮影会での必須事項。各自がこだわって作る名刺は1人10〜20種類は持ち歩いているという—泉佐野市の新井邸で



キャラクターになりきるには衣装だけではなく化粧も大切なアイテムだ
—泉佐野市の新井邸で

(069B)

OCDHNR04

★DVC
★CHR
★IMG
★EPS